

第76回全国大会提出 『道路整備促進に対する要望事項』

- 幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進
 - 土幌上土幌線(土幌町)、北見常呂線(北見市)、江差木古内線(木古内町、上ノ国町)、小樽港線(小樽市)など
- 主要施設周辺における臨路区間の解消や歩行空間のバリアフリー化の推進
 - 伊達紋別停車場線(伊達市)など
- 安全な自転車利用環境整備の推進
 - 札幌恵庭自転車道線(恵庭市)、愛別当麻旭川線(旭川市)など
- エゾシカとの衝突事故回避のための対策推進

【都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備】

- 都市の円滑な交通を確保するための道路の整備
 - 南岸通(北見市)、江別恵庭線(江別市)、小樽港線(小樽市)など
- 高規格道路と札幌中心のアクセスを強化する道路の整備推進
 - 創成川通(国道5号)
- 周辺再開発と一体的な札幌駅交通ターミナル整備の推進
- 渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備推進
 - 永山東光線(旭川市)など
- バスターミナルやバス停などバス利用拠点の整備・改善

【地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現】

- 北海道の地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の形成
 - ・交通・物流円滑化等の環境負荷軽減に資するインフラ整備
 - ・道路等における設備の省エネルギー化の推進
 - ・急速EV充電施設の設置によるEVの普及推進

東 北 地 区 道 路 利 用 者 会 議

道路は、人とくらしを支え、豊かな地域社会の形成を図る最も基本的な社会資本であり、質の高い創造的な社会の構築に向け、地域連携を強化し、活力ある経済に支えられた「ゆとりある社会」を実現するために、既存ストックの有効活用や良質な社会資本を計画的に整備することが不可欠であります。

また、持続可能な地域生活圏を確立し、圏域間の補完を可能とするために、高規格道路が果たす役割は大きく、人口減少や大規模災害リスクの中で、地方部における生活圏人口の維持に不可欠な高規格道路を「地域安全保障のエッセンシャルネットワーク」と位置づけ、早期の形成を図るべきです。さらに、我が国の生産性を向上させ、成長力及び国際競争力の強化、観光等経済活動拡大につながる高規格道路の未整備区間の解消など、高規格道路が国土をつなぐ幹線道路ネットワークとして、シームレスなサービスレベルを確保するよう、早期整備が必要です。

特に、社会資本整備の遅れている東北地域にとっては高規格道路から市町村道に至る道路網の整備を、重点的かつ効率的に推進することが是非とも必要であります。

さらに、東日本大震災をはじめとする災害により甚大な被害を受けた道路については、国民生活に大きな影響をおよぼすので、1日も早い復旧に取り組むとともに、災害復旧に対し柔軟な対応が必要であります。

このため、次の事項について強く要望いたします。

- 東日本大震災からの復興・創生について
 - 未だ多くの被災者の方々が、不自由な生活を余儀なくされており、被災者の方々が1日も早く安全で安心な生活を取り戻すとともに、被災地が復興を確実に成し遂げるためには、復興を支える道路事業を計画的に推進する必要があることから、「第3期復興・創生期間」においても通常予算とは別枠での財政措置に向け必要な制度構築を図るとともに、復興事業が完了するまで、必要な予算を確保すること。
- 災害に強い基幹的な道路整備等の推進について
 - 東北地方は、過疎・中山間地及び半島部を多く抱えており、道路整備が急務であることから、地方の道路整備予算の充実強化に努めること。
 - 令和元年東日本台風等の被災状況を踏まえた災害に強い道路ネットワークの構築や、近年頻発するゲリラ豪雨等による冠水対策、年々増加する維持管理に対する支援制度の拡充、令和3年1月の東北縦貫自動車道におけるホワイアウトアウトによる多重事故や令和3年12月の記録的な大雪などを教訓とした防雪・除排雪事業をはじめとする冬期道路交通対策、防災対策による事前通行規制箇所の解消、交通事故対策、道路インフラの老朽化対策及び無電柱化など、必要とされる道路事業が着実に推進されるよう積極的な対策及び予算措置を図ること。
 - さらに、昨年6月に策定された第1次国土強靱化実施中期計画に掲げる目標の達成に向け、対策の事業規模として示された「概ね20兆円強程度」については、「強」の部分も含めて必要かつ十分な公共事業予算を確保するとともに、今後の資材価格や人件費の高騰等の影響を適切に反映することが示されたことを踏まえ、国土強靱化の取組を継続的かつ安定的に推進するため、通常の公共事業予算とは別枠で計上すること。また、期限が延長された「緊急自然災害防止対策事業」等については、地方の実情に応じた取組を推進するため、対象事業のさらなる拡大を図ること。
 - 加えて、国土強靱化を計画的かつ着実に推進するため、事業採択前に必要な調査・設計など多額の地方単独費を要する業務について、補助・交付金や地方債充当の対象とするなど、地方財政措置の充実・強化を図ること。
- 重要物流道路の整備推進について
 - 平時時・災害時を問わず安全かつ円滑な輸送を確保するため、重要物流道路の整備推進によるネットワーク強化を図ること。
- 計画的な道路整備の更なる促進について
 - 高規格道路の整備を促進すること。
 - また、一般広域道路の早期整備及び予算の拡大を図ること。
 - 東北縦貫自動車道 八戸線「七戸～青森間」の機能強化
 - 東北横断自動車道
 - 金石秋田線「北上JCT～大曲IC」間の早期4車線化
 - 酒田線「月山IC～湯殿山IC」間に位置する(仮称)庄内内陸月山連絡道路の早期計画策定、「寒河江SAスマートIC～月山IC」間、「湯殿山IC～鶴岡JCT」間の早期4車線化
 - いわき新潟線「会津若松IC～新潟中央IC」間の早期4車線化
 - 日本海沿岸東北自動車道
 - 「朝日まほろばIC～あつみ温泉IC」間、「遊佐鳥海IC～象潟IC」間及び「北秋田今泉IC～蟹沢IC」間の早期整備
 - 「酒田中央IC～酒田みなとIC」間の早期4車線化
 - 東北中央自動車道
 - 「新庄真室川IC～(仮)金山北IC」間、「(仮)及位IC～(仮)上院内IC」間の早期整備
 - 「米沢北IC～南陽高畠IC」間及び「山形JCT～天童IC」間の早期4車線化
 - 常磐自動車道
 - 「広野IC～山元IC」間の早期4車線化
 - 津軽自動車道「柏洋田道路」の早期整備
 - 三陸沿岸道路「山田北IC」の早期フルIC化
 - 三陸沿岸道路「洋野種市IC」の早期フルIC化
 - 仙台北部道路の全線の早期4車線化及び「富谷ジャンクション」の早期フルJCT化
 - 仙台南部道路の早期4車線化
 - 東北縦貫自動車道「(仮)栗原IC」、「(仮)八幡平スマートIC」、「(仮)白石中央スマートIC」、「(仮)大玉スマートIC」及び東北中央自動車道「天童南スマートIC」、「(仮)高畠スマートIC」並びに常磐自動車道「(仮)小高スマートIC」の早期整備
 - 一般国道4号「白石南拡幅」、「仙台拡幅(竈ノ瀬～鹿の又)」、「大衡道路」、「古川高清水拡幅」、「築館バイパス」の早期整備
 - 一般国道7号(三川バイパス)の早期4車線化
 - 一般国道46号(盛岡秋田道路)「生保内～卒田」間の早期事業化
 - 一般国道47号(新庄酒田道路)高屋防災、高屋道路及び戸沢立川道路の早期整備、「高屋～草薙」間及び「立川～余目」間の早期計画策定
 - 一般国道47号(石巻新庄道路)「県境部付近(中山平～瀬見)」等の早期計画策定、一般国道108号(石巻新庄道路)の早期計画策定
 - 一般国道113号(新潟山形南部連絡道路)「鷹ノ巣道路」、「小国道路」の早期整備、「小国～飯豊」、「片貝～金丸」の調査促進及び他区間の早期計画策定
 - 仙台都市圏の幹線道路ネットワークの機能強化(仙台東道路の調査促進)
 - 一般国道4号と279号(下北半島縦貫道路)の早期整備
 - 一般国道7号「鶴ヶ坂防災」の早期着工
 - 一般国道7号「秋田南拡幅」の早期整備
 - 一般国道13号「河辺拡幅」の早期整備、「横手北道路」の調査・設計促進、「津久茂橋」の早期架替
 - 一般国道48号 観光期の渋滞対策の検討
 - 一般国道105号「大覚野峠防災(直轄権限代行)」の早期整備
 - 一般国道106号(宮古盛岡横断道路)「田鎖墓目道路」、「箱石達曾部道路」の早期整備及び未事業区間の早期計画策定、指定区間への編入
 - 一般国道108号「石巻河南道路」の早期整備

北 海 道 地 区 道 路 利 用 者 会 議

北海道は、豊かな自然、広大な土地、冷涼な気候などの特性を有し、農畜産物や水産物における全国最大の生産地として国民の食を支える役割を担っているほか、近年では、風力等の再生可能エネルギーにおける国内最大のポテンシャルにも注目が集まっている中、ラピダスをはじめとする半導体関連企業の進出やデータセンターの建設が相次いでいます。

また、雪・氷に親しむ北の暮らしなど、自然を活かした魅力的で質の高い観光資源が多数存在しています。このように北海道は、経済、エネルギー、食料の安全保障といった分野で大きな役割を果たしており、その独自性・優位性を活かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現と我が国のさらなる成長・発展に貢献していくためには、人流・物流などを支える道路ネットワークが必要不可欠です。

しかしながら、本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路における未整備区間をはじめ、千島海溝や日本海溝周辺での発生が危惧されている海溝型地震、気候変動により激甚化・頻発化する自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など多くの課題を抱えています。

こうした課題を解消し、人流・物流の効率化による生産性向上及び国際競争力の強化、次世代半導体やGX、AI・DXといった産業集積の促進、強靱な地域づくりをするためには本道の骨格を形成する高規格道路から身近な市町村道に至る道路網の整備や機能強化を着実に推進することが必要です。

このようなことから、次の事項について要望します。

《令和9年度北海道開発予算等の総額確保》

- 北海道の活性化、ひいては我が国のさらなる成長・発展に貢献するため、資材価格の高騰や近年の建設業における人件費の上昇等に対応する中でも、「第1次国土強靱化実施中期計画」の着実な推進および必要な道路整備や除排雪を含む維持管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和9年度道路関係予算の総額を確保すること。

《交付金制度等の見直し及び新たな制度の創設など》

- 国土強靱化の計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策などを推進するために必要な予算・財源を通常道路予算とは別枠で確保するとともに、予防保全を含む戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の拡充を図ること。
- 千島海溝や日本海溝周辺での発生が危惧されている海溝型地震などの大規模地震が発生した際、集落の孤立を防ぎ、緊急支援活動を円滑に実施するため、緊急輸送道路上の橋梁の耐震化について、新たな補助制度を創設すること。
- 近年の労務費などの上昇に伴う経費の増加を踏まえ、除排雪や老朽化が進行している除雪機械等の更新などに必要な予算を確保するとともに、財政支援による地方負担の軽減を図ること。
- また、安定的・持続的な除雪体制を維持するため、少雪時の待機補償や機械固定経費などの最低保証に対する国の財政支援の充実強化を図ること。
- 道民が安全で安心に暮らすことができる社会を実現するため、通学路の合同点検を踏まえた交通安全対策や事故危険区間などの解消に向けた交通安全施設の整備が速やかに実施できるよう、必要な予算を確保すること。
- 広大な面積を有する北海道では道路施設などの管理数が多く経年劣化や積雪寒冷地特有の損傷など維持管理費の負担が大きくなっていることから、地域の実情に応じた維持管理に活用可能な交付金制度を創設すること。

《公共施設等適正管理推進事業の期限延長》

- 令和8年度末に期限を迎える公共施設等適正管理推進事業について、道路等の長寿命化を推進する必要があるため、期限を延長すること。

《道路事業における評価手法の見直し》

- 道路事業評価にあたって、防災など交通量の多寡によらない多様な観点を考慮するとともに、社会的割引率の取り扱いを含め、事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築すること。

《北海道開発の枠組みを堅持》

- 第9期北海道総合開発計画に基づき、社会資本整備を総合的かつ着実に推進することができるよう、開発予算の一括計上や北海道特例及びこれを担う北海道局や北海道開発局の人員体制の維持・強化を図るなど、北海道開発の枠組みを堅持すること。

《要望事項》

【高規格道路の整備】

- 高規格道路の調査・整備の推進、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化の推進
 - ・北海道縦貫自動車道
 - ・北海道横断自動車道(根室線、網走線)
 - ・旭川・紋別自動車道
 - ・函館・江差自動車道
 - ・遠軽北見道路
 - ・帯広空港道路
 - ・創成川通
 - ・函館新外環状道路
 - ・松前半島道路
 - ・帯広圏連絡道路
 - ・北海道縦貫自動車道
 - ・日高自動車道
 - ・帯広・広尾自動車道
 - ・旭川十勝道路
 - ・渡島半島横断道路
 - ・釧路中標津道路
 - ・道央圏連絡道路
 - ・根室中標津道路
 - ・道東縦貫道路

【高規格道路の機能向上】

- 「高速道路における安全・安心計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化
 - ・北海道横断自動車道：千歳恵庭JCT～十勝清水IC
 - ・北海道縦貫自動車道：登別室蘭IC～伊達IC、国縫IC～八雲IC、和寒IC～士別剣淵IC
- 追加インターチェンジの整備やジャンクションの改良等
 - ・北海道横断自動車道：長流枝スマートIC(仮称)の早期完成
 - ・新得スマートIC(仮称)、新得PA(仮称)の早期完成
 - ・小樽JCTの早期完成
 - ・倶知安余市市道路(国道5号)：共和北IC(仮称)の早期完成

【地域間の連携・交流を促進するための道路網の整備】

- 空港、港湾などの物流拠点やICへのアクセス道路等の整備
 - 札幌北広島環状線(札幌市・江別市)、夕張新得線(新得町)(新得スマートIC(仮称))、網走端野線(北見市)(北見峠平内IC(仮称))、静川美沢線(苫小牧市)栗山北島線(岩見沢市)(長沼ランプ(仮称))など
- 通行不能区間等の解消
 - 国道452号盤の沢道路・五稜道路(芦別市・旭川市・美瑛町)など
- 物流・人流の生産性向上のための渋滞対策の推進
- 物流の効率化のため、「ダブル連結トラック」通行可能区間の更なる拡充及び「ダブル連結トラック」用の駐車マスの整備推進
- 道州制特区推進法に基づく移譲事業の着実な推進
 - 名寄遠別線(遠別町)
- 観光アクセス道路の整備
 - 国道36号白老西拡幅(白老町)、長流枝内木野停車場線(音更町)、洞爺湖登別線(壮瞥町)など

【災害に備えた道路交通環境の整備】

- 災害危険箇所の解消
 - 国道40号天塩防災(天塩町)、国道228号白神防災(松前町・福島町)、国道229号乙部防災(乙部町)、国道232号小平防災(小平町)、国道236号野塚防災(広尾町)、国道238号浜猿防災(稚内市・猿払村)、国道239号霧立防災(苫前町)、国道274号清瀬防災(日高町)、知床公園線(斜里町)、網走公園線(網走市)、など
- 無電柱化推進計画に基づく取組の推進
 - ニセコ高原北羅大線(倶知安町)など
- 国土強靱化地域計画に基づく事業(防災・減災)の推進
 - 大岸礼文停車場線(豊浦町)、奥尻島線(奥尻町)、旭川幌加内線(旭川市・幌加内町)など
- 緊急輸送道路における道路施設の耐震化
 - 根室半島線 協力橋(根室市)、厚岸標茶線 ときわ橋(標茶町)など
- 大規模災害に備えたネットワーク整備
 - 滝之町伊達線 上立香橋(壮瞥町)、上向別浦河停車場線(浦河町)など

【道路施設の老朽化対策の推進】

- 長寿命化修繕計画に基づく老朽化対策の推進
 - 長束大橋(長沼町)、貫気別橋(平取町)、月見橋(七飯町)、極楽橋(南富良野町)、十勝橋(清水町・芽室町)、第1栄橋(初山別村)、永代橋(遠軽町)など
- 耐用年数を超過した電気通信設備の更新等に必要な予算の確保
- 積雪寒冷地特有の凍上被害に継続的に対応していくため、緊急自然災害防止対策事業の予算確保

【冬期における安全な道路交通の確保】

- 雪崩・地吹雪対策など、冬に強い道路の整備
 - 国道44号根室防雪(根室市)、国道272号春別防雪(別海町)、中春別丹線(別海町)、美川黒松内線(島牧村)、江別長沼線(江別市・長沼町)、矢白場札幌線(石狩市)、美唄富良野線(美唄市)など
- 冬期交通確保のための除排雪の充実、雪害機械の更新・増強
- 鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実

【安全で安心な道路交通環境の整備】